



炊き出しで出会った少女

ラファでの炊き出しでは、近くのテントに住んでいる子どもたちが、鍋や缶などを抱えて並びます。サマさん(13歳)もその一人で、スタッフとも顔なじみになりました。

ガザ市のシャジャイヤという住宅地から、まず中部のヌセイラートに逃げ、そこから南部のラファまで逃げて来たそうです。家族など10人で1か月ほどテント暮らしをしています。

いろいろな経験をしたはずですが、「明日の料理は何?」と屈託ない笑顔を見せてくれて、救われる思いがしました。

龍のカリグラフィーと イブラヒムさんのメッセージ

パレスチナ子どものキャンペーンでは、毎年、年賀状を作成してきましたが、この冬は皆様へのご挨拶も年賀状の販売も控えさせていただきました。

実は、ガザのデザイナーに依頼をしていた干支の龍をかたどった「新年おめでとう」というアラビア文字のカリグラフィー(習字)の原案が、9月中旬に届いていましたので、ここでご紹介します。

デザインしたのはアトファルナろう学校のクラフショップでマネージャーをしているイブラヒム・ムフタディさんです。イブラヒムさんも家と職場、自身のアトリエを失っています。



سنة جديدة سعيدة 2024
Happy New Year 2024

Ibrahim Muktadi Design

「私は妻と子ども3人、両親とともに安全な場所を探して、あちこち移動しています。ありがたいことに生き延びていますが、未来がどうなるのかわかりません。まずは「今」を心配しないようになります。明日、安全で一緒にいられるかわからないのですから。」

失ったものは大きく痛みを伴います。しかし、私たちは灰と瓦礫の下から再び立ち上がるでしょう。どんな困難があろうともアトリエを再建し、夢を再び取り戻したいと思っています。私たちにはまだ「希望」があり、それがこの土地でこのような状況下で生き延びるための唯一の手段なのです。

世界中の自由な人々には、私たちを支援し、私たちのために、この不正義に反対する声を上げ、立ち上がるようお願いいたします。私たちには普通の生活を送る権利、生きる権利があります。」



パレスチナ子どものキャンペーンご案内

パレスチナ 子どものキャンペーンは

1986年に活動を開始した市民のNGOです。国籍や宗教、民族にとらわれず、パレスチナと中東地域の平和を願い、そこに生きる子どもたちが希望を持って成長できるように、教育・保健・福祉分野での支援と人権擁護を進めています。また、コミュニティの強化と自立的発展に協力しています。

会員になってキャンペーン の活動を支援してください

- 会費(年会費): 4,000円、6,000円、10,000円(※ご都合にあわせて、金額をお決め下さい)
- 会報「サラーム」や随時のお知らせなどをお送りします。詳しくはお問い合わせ下さい。

ご寄付を お願いします



ご寄付・募金を常時受付しております。下記の口座にお振込みください。

郵便振替口座 [00160-7-177367] / みずほ銀行 高田馬場支店 [普通8030448]

三井住友銀行 目白支店 [普通6852351] / 三菱UFJ銀行 目白支店 [普通0152056]

銀行からの送金の場合、領収書をお出しするために、ご住所とお名前をメールやファックスなどでお知らせ下さい。会費のお振込みも上記の口座をご利用下さい。

クレジットカードでもご寄付いただけます。詳しくはホームページ <https://ccp-ngo.jp/> をご覧下さい。

税金の控除について

パレスチナ子どものキャンペーンは寄付金の税金控除を受けられる認定NPO法人です。税金控除には、当会発行の領収書をつけて確定申告して下さい。

特定非営利活動法人 **パレスチナ子どものキャンペーン**(認定NPO法人)

〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-23 豊ビル4階 / Tel 03-3953-1393 / Fax 03-3953-1394

Eメール info@ccp-ngo.jp / ホームページ <https://ccp-ngo.jp/>

Facebook [パレスチナ子どものキャンペーンnew](#) / X [@ccp-ngo](#)



パレスチナ子どものキャンペーン